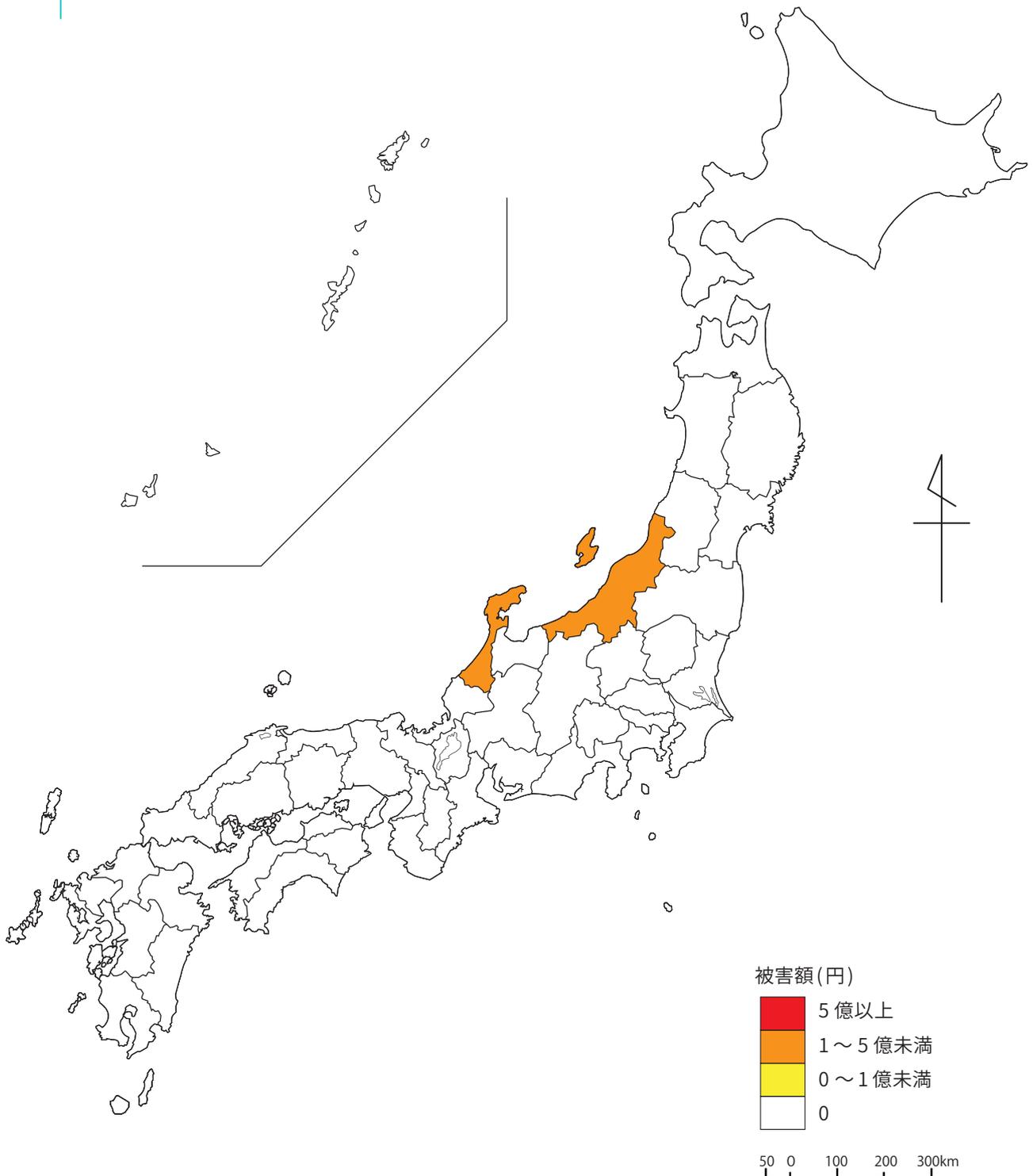


(8) 風浪災害

風浪災害は新潟県、石川県で計3箇所発生している



3.2 山地災害の特徴

平成 29 年の山地災害の規模をその誘因別に見ると、台風と梅雨前線の複合災害（1,382 箇所、34,075 百万円）、台風災害（653 箇所、19,371 百万円）、梅雨災害（154 箇所、2,327 百万円）、豪雨災害（77 箇所、1,708 百万円）の順となっている。

誘因別に代表的な災害事例を次に示す。

(1) 富山県南砺市の災害

発生日：1 月 16 日

誘因となった気象：融雪

総雨量：最大 24 時間降水量 137.8 mm(降雨量 39.0 mm、融雪換算雨量 98.8 mm)、最大 1 時間降水量 5.0 mm (上百瀬観測所)

被災状況：林地被害 1 箇所、家屋全壊 1 棟、半壊 1 棟



(2) 長野県飯山市の災害

発生日：5 月 19 日

誘因となった気象：融雪

総雨量：最大 24 時間降水量 87.0 mm (降雨量 22.0 mm、融雪換算雨量 65.0 mm)、累積雨量 502.0 mm (温井観測所)

被災状況：林地被害 1 箇所



(3) 福岡県朝倉市及び東峰村の災害（九州北部豪雨）

発生日：7 月 5 日

誘因となった気象：豪雨

総雨量：24 時間降水量 829.0 mm、最大 1 時間降水量 124.0 mm (北小路公民館観測所)

被災状況：林地被害 865 箇所、治山施設被害 1 箇所、死者 36 名、行方不明 2 名、家屋全壊 273 棟、半壊 827 棟





(4) 大分県日田市の災害（九州北部豪雨）

発生日：7月5日

誘因となった気象：豪雨

総雨量：24時間降水量 584.0 mm、最大1時間降水量 83.0 mm（上宮山観測所）

被災状況：林地被害 61 箇所、家屋全壊 3 棟、半壊 5 棟



(5) 秋田県雄和地区の災害

発生日：7月23日

誘因となった気象：豪雨

総雨量：24時間降水量 347.0 mm、最大1時間降水量 55.5 mm（雄和観測所）

被災状況：林地被害 113 箇所、家屋半壊 1 棟



(6) 新潟県糸魚川市の災害

発生日：7月1日～24日

誘因となった気象：豪雨

総雨量：24時間降水量 190～228 mm、最大1時間降水量 23～37 mm（糸魚川市内）

被災状況：林地被害 68 箇所、治山施設被害 3 箇所、家屋半壊 1 棟



(7) 山梨県大月市の災害

発生日：8月7日

誘因となった災害：台風第5号

降水量：24時間降水量 254.0 mm、最大1時間降水量 84.0 mm（富士・東部建設事務所）

被災状況：林地被害 9 箇所、治山施設被害 2 箇所





(8) 愛媛県西条市の災害

発生日：9月17日

誘因となった災害：台風第18号

降水量：24時間降水量216.0mm、最大1時間降水量46.0mm（西条観測所）

被災状況：林地被害32箇所



(9) 新潟県糸魚川市の災害

発生日：10月23日

誘因となった災害：台風第21号

降水量：24時間降水量294mm、最大1時間降水量46.0mm（道平観測所）

被災状況：林地被害39箇所、治山施設被害3箇所



(10) 三重県多気郡多気町の災害

発生日：10月22日

誘因となった災害：台風第21号

降水量：24時間降水量458.0mm、最大1時間降水量52.0mm（平谷観測所）

被災状況：林地被害107箇所、治山施設被害21箇所、家屋半壊2棟

